

25年7月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成25年 6月20日～ 7月10日

2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
7月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

品目		25/7月	8月	9月
入荷動向	スギ	0.0	33.3	16.7
	ヒノキ	25.0	50.0	50.0
	カラマツ	33.3	33.3	33.3
	トドマツ	0.0	33.3	33.3
消費動向	スギ	33.3	16.7	16.7
	ヒノキ	25.0	50.0	25.0
	カラマツ	16.7	16.7	33.3
	トドマツ	66.7	33.3	50.0
在庫動向	スギ	16.7	33.3	33.3
	ヒノキ	25.0	50.0	50.0
	カラマツ	33.3	33.3	33.3
	トドマツ	66.7	33.3	0.0

入荷はスギは7月の横ばいから8,9月は減少、ヒノキ及びカラマツはマイナス基調で推移、トドマツは7月の横ばいから8,9月増加に。
消費は、スギは7月の増加から8月の減少を経て9月には増加に、ヒノキは7月の増加から8,9月減少に、カラマツ及びトドマツはプラス基調で推移。
在庫は、スギ、ヒノキ、カラマツともマイナス基調で推移、トドマツは7,8月の減少から9月は横ばいに。

(2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	25/7月	8月	9月
スギ	16.7	16.7	16.7
ヒノキ	0.0	0.0	25.0
カラマツ	33.3	50.0	50.0
米マツ	25.0	25.0	25.0
北洋カラマツ	0.0	0.0	0.0
その他			

スギは7,8月マイナスが9月はプラスに、ヒノキは7,8月横ばいから9月プラスに、カラマツ及び米マツは強保合ないし強含み、北洋カラマツは横ばい。

モニターからのコメント

(原木荷動き)

- ・トドマツは季節がら在庫は減少。
- ・生產品目に合わせて消費、適正在庫で推移。
- ・入荷は予定数量確保、消費は計画以上に操業しわずか増えた。
- ・先月に続き入荷制限、7月は稼働日多いため消費は増加、在庫は横ばい。
- ・スギは入荷枠設定中、カラマツ及びトドマツは入荷枠なし、消費はオール国産合板の増産からカラマツ及びトドマツは増加、在庫はトドマツ及びカラマツは減少。
- ・現在では順調な入荷状況。木材利用ポイントがらみで国産材の引き合い増えてきている。

(原木価格)

- ・北洋カラマツは為替により変化。
- ・カラマツは不足感から価格上昇するか。

25年7月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

4. 調査結果の概要

(1) 生産動向 Weight. D. I.

品目		25/7月	8月	9月
生産動向	構造用(9mm)	14.3	0.0	14.3
	" (12mm)	42.9	14.3	14.3
	" (15mm)	0.0	0.0	0.0
	" (24mm)	14.3	28.6	28.6
	" (28mm)	28.6	14.3	0.0
出荷動向	構造用(9mm)	14.3	14.3	28.6
	" (12mm)	42.9	42.9	42.9
	" (15mm)	14.3	14.3	14.3
	" (24mm)	28.6	42.9	42.9
	" (28mm)	0.0	14.3	14.3
在庫動向	構造用(9mm)	14.3	28.6	28.6
	" (12mm)	42.9	28.6	28.6
	" (15mm)	14.3	14.3	14.3
	" (24mm)	28.6	14.3	14.3
	" (28mm)	42.9	28.6	42.9

生産は9mm及び28mmは7月減少から9月に向け増加ないし横ばいに、12mm及び24mmはプラス基調で推移、15mmは横ばい推移。
出荷は9、12、15、24mmともプラス基調で推移、28mmは7月の横ばいから8、9月は増加に。
在庫は9、12、15、24mm及び28mmともにマイナス基調で推移。

(2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	25/7月	8月	9月
構造用(9mm)	57.1	28.6	42.9
" (12mm)	57.1	28.6	42.9
" (15mm)	57.1	28.6	42.9
" (24mm)	71.4	57.1	85.7
" (28mm)	57.1	28.6	57.1

いずれも強含み。

モニターからのコメント

(合板荷動き)

- ・在庫なく納期に追われた生産、在庫なしがしばらく続きそう。
- ・生産は12mmの要請多い、24、28mm木材利用ポイントで徐々に増加、出荷も駆け込み需要で増加、在庫は多少減少。生産は24mm中心、12mm、24mmの出荷が多くなった。
- ・工場はフル操業、生産増は見込めない、納品要請に追いつけない、12mmが多い。在庫は低水準。
- ・12mmの生産増、24mm、28mmで生産調整、出荷も12mm増加、在庫は24mm、28mmを減らす方向。
- ・8月は稼働日少なく生産落ちる。出荷は木材利用ポイント、駆け込み需要で今後更に引き合い増えそう。公共工事、東北復興工事等への国産針葉樹型枠塗装板の使用が増えている。

(合板価格)

- ・上げ幅小さいが少しずつ上昇気味。
- ・価格は強含み、8月以降は不明。
- ・価格は安定。円安で原木、接着剤の価格などコストアップ要因で上昇基調
- ・9～15mmはそろそろ上限か、厚物は上昇期待。
- ・電気料金値上げ、その他資材、副資材の値上げ傾向。